

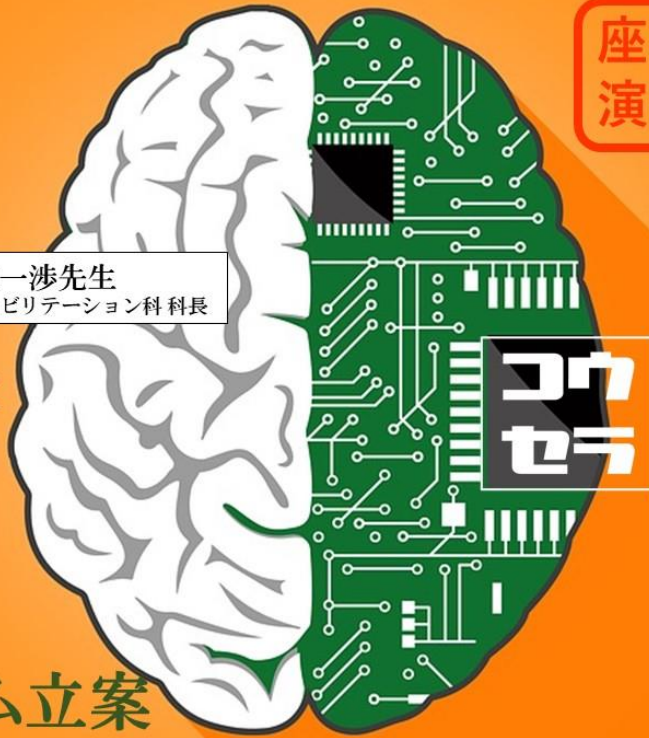


【講師】手塚純一渉先生  
さいわい鶴見病院リハビリテーション科 科長

学  
演  
習  
座

脳画像を活用した  
脳卒中リハビリテーション

脳画像の基本  
運動線維  
高次脳機能  
予後予測  
治療プログラム立案



脳卒中リハビリテーションにおいて脳画像を活用したいと考えても、脳画像の知識をうまく症例に活かさず悩まれている方も多いのではないのでしょうか。

当セミナーでは脳画像の基本から治療プログラム立案まで、演習を通して経験が浅い方でもわかりやすいように解説していただきます。また悩んでいる担当症例の脳画像をご持参いただき講師の先生に直接みていただくことも可能です。明日の臨床から脳画像を活用し、効果的で適切なリハビリテーションを展開できることを目標とします。

<以下のような方にオススメです>

- 『脳画像に関する知識を基礎から学びたい』
- 『運動障害・高次脳障害の機能局在を的確に把握したい』
- 『脳画像読影の演習を受けたことがない』
- 『自分の担当する難渋症例の脳画像をみてもらいたい』
- 『脳画像から予後予測・治療プログラム立案をできるようになりたい』
- 『脳卒中リハビリテーションのエキスパートの臨床を知りたい』

対象

PT・OT・ST  
その他、脳画像をみる方

【日時】2019年9月22日(日)  
10:00～16:00(受付9:30～)

【会場】ウィリング横浜 研修室127  
(京浜急行「上大岡」駅 徒歩3分)

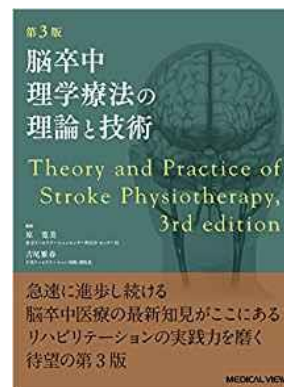
【定員】40名程度(先着順)

【受講費】7000円

【講師】手塚純一先生(さいわい鶴見病院  
リハビリテーション科 科長)

・理学療法士・専門理学療法士(神経)

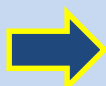
著書:脳卒中理学療法の理論と技術 第三版、メジカルビュー社(2019) 理学療法MOOK22 急性期の脳卒中理学療法、三輪書店(2018)



内容

- ①脳画像の基本
- ②脳画像における運動線維の通り道を学ぶ
- ③脳画像における運動線維の通り道を描く(演習)
- ④脳画像における高次脳機能障害の局在
- ⑤脳画像を活用したリハビリテーションプログラム立案
- ⑥難渋症例の相談

詳細・お申し込み  
はホームページより



コウセラ



で検索

